

この冬から来春3月を決戦として闘いぬく

12・2 三里塚現地集会で高らかに宣言



◆◆◆◆◆

12月2日、東京実行委員会主催による「二期着工阻止、成田用水粉砕、自主耕作地防衛、中曽根内閣打倒12・2現地総決起集会」が一二八〇名の結集をもって開催され、10月成田用水決戦の勝利を引きつぎ、この冬から来年3月までを三里塚闘争史上最大の決戦として闘いぬく方針を決定した。

◆◆◆◆◆

三里塚を闘う労働運動の拡大を——水野副委員長——

集会は、成田用水をめぐる攻防戦で緊迫する菱田現地に於いて、東実・小西世話人の司会のもと開催された。に、激戦を最先頭で闘う学生から力強い決意表明を受けた後、一一〇名で参加した動労千葉

の「異議なし」の声で確認された。

どんな弾圧にも負けずに闘いぬく——反対同盟各氏が決意表明——

司会を東実・青柳世話人と交代し、全国から多数寄せられたメッセージが紹介された後、反対同盟の各氏より次の決意が述べられた。北原鉦治氏——反対同盟が原則を投げる時は二期を許す時だ。われわれが求めるものは金ではなく、三里塚と全国住民闘争の勝利だ。どんな重刑攻撃にも屈せず闘う。

鈴木幸司氏——19年間なにゆえに闘ってきたのかを肝に銘じ、成田用水を粉砕しなければならぬ。来年3月の二期阻止はくいのないよう闘う。秋葉恵美子さん——11月21日の東峰裁判重罪求刑は、権力が憎しみをこめて出したもので、これに敗れることなくがんばります。

小川嘉吉氏——土地は絶対に売らず、三里塚において数々の事件を起こした全責任を、必ずや政府にとらせなければならぬ。島村初江さん——権力、公団の凶暴化した攻撃に胸がはりさける程の怒りがありあがっている。親子7人、命ある限りがんばる。

平山賢氏——三里塚闘争と反対同盟をつぶそうとする攻撃を打ち破るために、これからも闘うことを誓う。宮本嘉氏——正しいことをやっているがゆえに弾圧されるなどということは絶対許さない。権力を打倒し、勝利をめざして闘いぬく。

郡司とめさん——私達の息子達にかけられた重罪求刑に怒りをもち、これをバネに空港粉砕、農地死守で闘う。宮本衛氏——自主耕作地破壊を用水もろともはね返し、実力闘争で空港廃港にみちびく。

集会は各団体からの決意を受け、スローガン、集会宣言を採択しデモに出発した。弾圧のスキを狙う機動隊を一步も寄せつけず、二期阻止、3・24大結集を宣言し成功裡に闘いぬいた。

を代表して水野副委員長が特別報告に立った。水野副委員長は「三里塚は決戦の真只中にあるが、国鉄も決戦の火ぶたが切られた。『60・3ダイ改』は一過性の攻撃ではなく、87年までに15万人の首を切る国鉄労働運動解体攻撃そのものだ。動労『本部』革マルは当局と一体となって組合員を放り出している。労働運動の拡大しかねない。不屈、非妥協、実力闘争の精神を労働運動の中に定着させることだ。第二の『81・3』闘争が求められており、そのためにも今決起しなければならぬ」と訴え、万雷の拍手を浴びた。つづいて職場廃止攻撃と対決し、断固闘いぬいている全通東京空港支部の岩本書記長が立ち、「攻撃の本質は三里塚を闘う全通の拠点つぶしであり、業務移管に絶対対応しない闘いを貫く」と決意を表明した。東富士軍用道路建設にむけた松丸尾の立木材採攻撃と命がけで闘いぬいている忍草からかけつれた、母の会の天野事務局長は「決戦になると弱い者はおちていく。30年の闘争で耐えた魂はぬけていない。松丸尾は絶対守ってみせます」と決意を述べ、三里塚の農民を激励した。破防法裁判闘争を支える会の丸山世話人からは、破防法裁判の11・12抜き打ち「論告求刑」弾劾と反撃への決起が呼びかけられた。つづいて東実・長谷川世話人から、この冬から来年3月にむけた決戦方針が提起され、全参加者

の「異議なし」の声で確認された。どんな弾圧にも負けずに闘いぬく——反対同盟各氏が決意表明——司会を東実・青柳世話人と交代し、全国から多数寄せられたメッセージが紹介された後、反対同盟の各氏より次の決意が述べられた。北原鉦治氏——反対同盟が原則を投げる時は二期を許す時だ。われわれが求めるものは金ではなく、三里塚と全国住民闘争の勝利だ。どんな重刑攻撃にも屈せず闘う。鈴木幸司氏——19年間なにゆえに闘ってきたのかを肝に銘じ、成田用水を粉砕しなければならぬ。来年3月の二期阻止はくいのないよう闘う。秋葉恵美子さん——11月21日の東峰裁判重罪求刑は、権力が憎しみをこめて出したもので、これに敗れることなくがんばります。小川嘉吉氏——土地は絶対に売らず、三里塚において数々の事件を起こした全責任を、必ずや政府にとらせなければならぬ。島村初江さん——権力、公団の凶暴化した攻撃に胸がはりさける程の怒りがありあがっている。親子7人、命ある限りがんばる。平山賢氏——三里塚闘争と反対同盟をつぶそうとする攻撃を打ち破るために、これからも闘うことを誓う。宮本嘉氏——正しいことをやっているがゆえに弾圧されるなどということは絶対許さない。権力を打倒し、勝利をめざして闘いぬく。郡司とめさん——私達の息子達にかけられた重罪求刑に怒りをもち、これをバネに空港粉砕、農地死守で闘う。宮本衛氏——自主耕作地破壊を用水もろともはね返し、実力闘争で空港廃港にみちびく。集会は各団体からの決意を受け、スローガン、集会宣言を採択しデモに出発した。弾圧のスキを狙う機動隊を一步も寄せつけず、二期阻止、3・24大結集を宣言し成功裡に闘いぬいた。



年末等当 要結 (12月4日) 23時

- (1) 支払範囲 一九八四年十二月十三日現在職員。
- (2) 支払額 基準内賃金(婚姻加算を除く)の2・35月分。
- (3) 支払日 一九八四年十二月十三日以降準備でき次第。
- (4) その他の取扱い 従来と同様。

日刊 動労千葉

84. 12. 5 No.1809

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)

(鉄電)二五三五(六・公衆)〇四七二(22)七二〇七